



## 映画評論家 清水節さん「白鯨との闘い」

この映画は大自然と人間の関係を見つめた問題作です。

アメリカ文学の金字塔で、映画にもなった「白鯨」という小説があります。メルヴィルのあの名作は、いかにして書かれたのか、原作はその背景にあった真実を探り当てていくノンフィクションです。

映画では人間と人間、人間と自然、そして人間が自分自身を見つめ、群像劇でありサバイバルでもある傑作に仕上がっています。



TOHOシネマズ 六本木ヒルズ

監督はアカデミー賞監督のロン・ハワード。

メルヴィルに扮するのは「007」でQを演じ、パディントンの声も担当した、今きている英国男子、ベン・ウィショーです。ご期待ください。

「白鯨との闘い」は、TOHOシネマズ 六本木ヒルズにて絶賛上映中です。

▶ TOHOシネマズ 六本木ヒルズ

(2016.02.02)

### 1820年に実際に起こった事件を描いた作品

映画「白鯨との闘い」は、全米図書賞ノンフィクション部門を受賞した「復讐する海捕鯨船工セックス号の悲劇」を原作に、1820年に実際に起こった白鯨襲撃事件を描いた作品です。

監督は「アポロ13」「ダ・ヴィンチ・コード」等を手掛け、「ビューティフル・マインド」で第74回アカデミー賞監督賞に輝いたロン・ハワード。主演は「マイティ・ソー」で主人公を演じ、「アベンジャーズ」にも出演したクリス・ヘムズワースです。

物語は捕鯨船の乗組員と巨大なマッコウクジラとの死闘を描いており、登場する30m超の巨大なクジラ（平均的なサイズは約15m）をCGで描写しています。その大きさ故に現実感がなくならないよう、マッコウクジラの専門家にも指導を仰ぎ、細部までこだわって制作したとのこと。

映画館でしか見ることのできない大きさ・迫力のクジラを、そしてそのクジラやさらなる試練に立ち向かう男たちの姿を、ぜひご覧ください。



映画評論家・クリエイティブディレクター。1962年東京生まれ。共著書に新潮新書「スター・ウォーズ学」。企画・構成原案・取材を担当したWOWOW「ノンフィクションW 撮影監督ハリー三村のヒロシマ」でギャラクシー賞受賞。